



2023年度 第2四半期
FY2023 H1

決算概要



Enhancing planetary health

2023年11月9日

日揮ホールディングス株式会社

ファイナンスユニット部長の田口です。
これから、2023年度第2四半期の決算概要についてご説明させていただきます。

CONTENTS

目次

- 2023年度 第2四半期 実績
- 2023年度予想
- 参考資料



本日は最初に2023年度第2四半期の実績について、
次に2023年度予想についてご説明させていただきます。

2023年度 第2四半期 実績

Enhancing planetary health

ハイライト

- ・ 大型プロジェクトの進捗により前年同期比増収
- ・ 海外子会社遂行案件のリスク見直しにより利益率は低下
- ・ 国内の受注は順調

最初に、2023年度第2四半期のハイライトです。

大型プロジェクトが計画通り進捗しており、売上高は前年同期比増収となりました。

海外子会社が主体的に遂行する案件でリスクの見直しが必要になったものがあり、利益率はこの第2四半期で一時低下する形となりました。

受注は海外案件の決定時期が軒並み年度後半を見込んでいるため全体としては低調ですが、国内では順調に積み上がっています。

連結損益計算書

【億円】

	H1 FY2022	H1 FY2023	前年同期比	
売上高	2,672	4,032	+1,360	+51%
売上総利益	320	284	△ 36	△ 11%
利益率	12.0%	7.1%	△ 4.9pt	
営業利益	189	130	△ 59	△ 31%
経常利益	304	254	△ 50	△ 17%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	207	125	△ 81	△ 39%
1株当たり四半期純利益	82.10円	52.29円		

次に連結損益計算書です。

前年同期比で増収減益です。
売上高は前年同期比51%増収の4,032億円、
売上総利益は11%減の284億円、
利益率は4.9ポイント下がって7.1%でした。
総合エンジニアリング事業の減益の影響です。

営業利益は31%減の130億円、
経常利益は17%減の254億円、
受取利息が増加したことで経常利益の減少率は営業利益より
小さくなりましたが、純利益は海外子会社の損失計上による税の影響により
実効税率が上昇したため、39%の減少、125億円となりました。

セグメント情報

		【億円】			
		H1 FY2022	H1 FY2023	前年同期比	
総合エンジニアリング	売上高	2,418	3,755	+1,337	+55%
	セグメント利益	173	122	△ 50	△ 29%
	利益率	7.2%	3.3%	△ 3.9pt	
機能材製造	売上高	234	257	+22	+10%
	セグメント利益	38	37	△ 1	△ 3%
	利益率	16.6%	14.6%	△ 2.0pt	
その他	売上高	19	19	-	-
	セグメント利益	3	6	+2	+90%
	利益率	17.4%	33.0%	+15.6pt	
調整額	セグメント利益	△ 25	△ 36	△ 10	-

次にセグメント業績です。

総合エンジニアリング事業は、国内ではクリーンエネルギー、ライフサイエンス関係、海外ではサウジアラビアやイラクの大型案件の進捗が伸びたことで、売上高は前年同期比1,337億円増収の3,755億円となりました。一方、セグメント利益は、前年同期比50億円減の122億円、利益率も3.9ポイントの低下となりました。

この減益について説明いたします。

第2四半期のプロジェクト採算の見直しで、海外子会社の中規模案件2件の遂行に伴い認識された追加コスト、リスクを反映したことで利益率が一時的に低下する形となりました。

ひとつは、インドネシア子会社が遂行する天然ガス処理プラント及びガスパイプライン新設案件で2022年に受注したものです。本案件では、建設地の地盤が想定以上に悪く、くい打ちや土壌改良等の追加コストを見込む必要が出て来ました。また、大幅な設計変更要求を受けたことに伴う社内設計作業の混乱やパイプライン用地の引渡し遅延による作業量の増加も見込まれることから、遂行状況に鑑み追加コストのリスクを織り込む必要があると判断しました。

もうひとつは、サウジアラビア子会社が遂行するNGLプラント増強案件で2021年に受注したものです。本案件では、設計確認対応により設計スケジュールが

遅延したことで、調達、建設のスケジュールとコストへの影響が懸念される状況となりました。また、設計遅延による追加発注や変更発注が行われることになり、資機材の価格高騰のリスクに加え、納期確保のための追加コストの可能性も見込むこととしました。

これら2件で第2四半期に工事損失引当金を計上することとなり、粗利益が下押しされる結果となりました。

これら採算悪化は、海外子会社主体の受注プロジェクトで数百億円規模のものが増加する中で、海外子会社での案件見積りにおけるリスクの分析、対応を行う体制がまだ整備途上にあったことが背景にあると認識しています。

次に機能材製造事業です。

売上高は若干増収の257億円となりましたが、利益は横ばいの37億円にとどまりました。

触媒製品では価格改定により増収を確保したものの販売量が低下しており、ファインケミカル製品も半導体関連を中心として需要減少による影響を受け、利益率が低下しました。

その他事業はご覧のとおりです。

セグメント情報

受注の状況（総合エンジニアリング事業）

i) 受注高

【億円】

	H1 FY2022	H1 FY2023
海外	4,161	440
国内	472	1,148
合計	4,634	1,589

H1 FY2023
主要受注案件

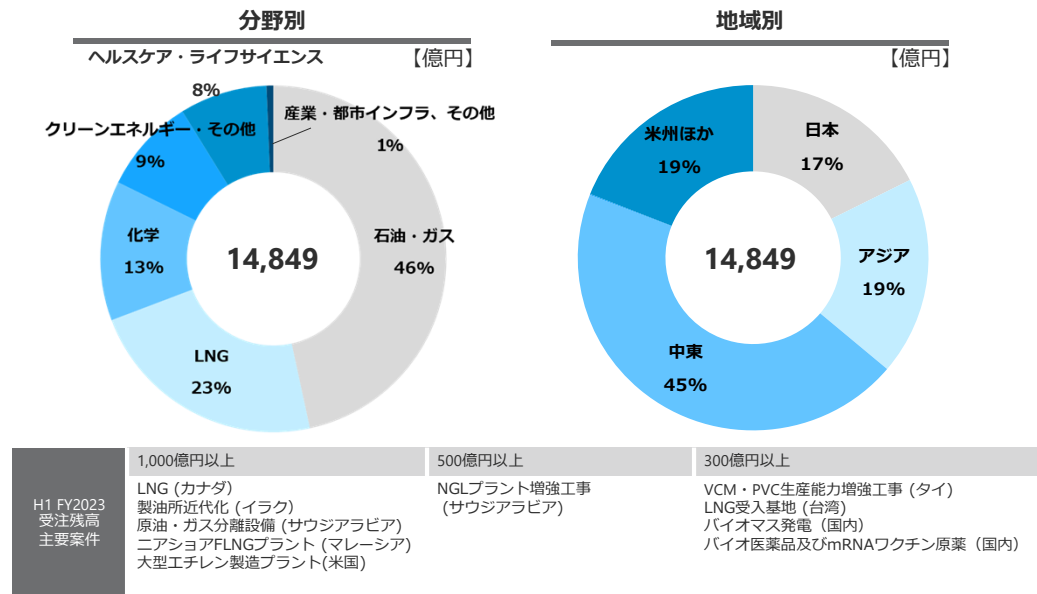
バイオ医薬品及びmRNAワクチン原薬等製造棟建設（国内）
バイオ原薬製造棟建設(国内)

次に総合エンジニアリング事業の受注の状況です。

第2四半期累計期間の受注高は全体で1,589億円となりました。
主要案件としては国内のバイオ医薬関連のものとなっています。

セグメント情報

ii) 受注残高 (2023年9月末)



次に受注残高です。

1兆4,849億円と前四半期末から790億円の減少となっています。
分野別、地域別の構成比に大きな変動はありません。
主要案件として国内のバイオ医薬品及びmRNAワクチン原薬
製造棟建設案件を加えています。

連結財政状態及びキャッシュ・フロー

【億円】

	2023年3月末	2023年9月末	増減
総資産	7,131	7,542	+411
純資産	3,979	4,045	+66
自己資本比率	55.7%	53.5%	△ 2.2pt
JVキャッシュ 当社持分	1,717	1,705	△ 11
	H1 FY2022	H1 FY2023	前年同期比
営業 キャッシュ・フロー	889	162	△ 726
投資 キャッシュ・フロー	△ 49	△ 133	△ 83
財務 キャッシュ・フロー	△ 105	△ 116	△ 10
現金及び現金同等物の期末残高	3,716	3,336	△ 379

次に連結財政状態です。

財政状態は期初から大きな動きはありません。

自己資本比率は横ばいの53.5%です。

バランスシートに計上していないジョイントベンチャーのキャッシュの
当社持分は、1,705億円です。

営業キャッシュ・フローは162億円のプラスとなりました。

前年同期は過去に終了したプロジェクトの係争終結に伴う債権回収などで
大幅に上振れていました。

投資キャッシュ・フローは有形固定資産取得などにより133億円のマイナス

財務キャッシュ・フローは配当金の支払などにより116億円のマイナス

第2四半期末のキャッシュは期初からほぼ横ばいの3,336億円でした。

2023年度予想

Enhancing planetary health

2023年度の業績見通し

通期業績予想に変更はありません。

【億円】

	FY2023 業績予想	H1 FY2023 実績	進捗率
受注高(※1)	8,000	1,589	20%
売上高	8,000	4,032	50%
売上総利益	680	284	42%
利益率	8.5%	7.1%	
営業利益	380	130	34%
経常利益	450	254	56%
親会社株主に帰属する 当期純利益	320	125	39%
1株当たり配当金	40円		
換算レート(米ドル)	140.00円(※2)		

(※1) 総合エンジニアリング事業

(※2) 2023年10月以降の想定レート

最後に2023年度通期の業績見通しです。

通期業績予想は変更ありません。

予想為替レートはこれまで1米ドル133円としていましたが、下期は140円で予想しています。

第2四半期までの実績の通期予想に対する進捗は、受注高では20%に留まっています。これは海外案件の決定見込時期が年度後半から終盤に集中しているためです。

売上高は、順調に進んでいますが、第2四半期に海外子会社案件のリスクを織り込んだことで利益の計上は若干遅れております。

営業利益では進捗率34%となっています。

主力案件において採算改善にむけた努力を継続しており、下期にはその結果を期待できるものが出てきています。

これにより、今回織込んだリスクによる営業利益の下押しを挽回出来る可能性は十分あると考えています。

ドル円1円の変動による影響は、参考値ですが、売上高で20億円、粗利益4億円、経常利益段階で8億円と計算しています。

以上で決算概要の説明を終わります。